



福島中だより

令和 7 年 度
福島中学校学校通信
10月1日(水)
第 6 号

【重点教育目標】認め合い、支え合い、未来を切り拓く生徒の育成(3年目)
【生徒会スローガン】日 笑(にっしょう)

若さ、伝統、地域とともに

福島町立福島中学校長 助 川 剛

令和7年度の福中藝術祭は、「ヤングフェスティバル」のテーマ通り、本校の生徒がその若さを発表で十分に発揮することができた教育活動となりました。

ダンス、生徒会企画、各学年の発表では、自分たちも楽しみ、観客を楽しませ、まぶしいくらいの若さで表現する楽しさを伝えることができていました。

伝統芸能「四箇散米行列」「荒馬踊」の発表は、踊りのご指導と当日の演奏、ご協力くださった役場、教育委員会、地域の方々と共に作り上げた発表となりました。真剣に踊る姿に福島町の伝統を受け継いで伝えていく意思を示してくれました。

少年の主張では、自分の感じたこと、考えたことをしっかりとまとめて発表することができていました。

最後の合唱では、全校生徒37名が気持ちを一つにして歌うことに集中し、練習の成果を発揮しようとする姿がありました。その姿と響くハーモニーは会場の皆さんに感動を与えたと思います。

今年度の藝術祭は、全校生徒一人一人に仕事が割当たり、やるべきことに責任をもって果たす活動を通して、自主性・協調性を高めることを目標にしていました。当日の発表までの準備期間に生徒は、他の生徒や教師の関りにおいて経験し、発表や自分の仕事に取り組む様子から自主性・協調性が高まったと実感しました。身につけた資質・能力をこれからの様々な場面で活かしてほしいと願います。

福島町長 鳴海清春様、福島町議会議長 溝部幸基様、福島町教育委員会教育長 小野寺則之様をはじめ、来賓の皆様、保護者・地域の皆様、学習、準備した成果を全力で表現しようとした生徒たちへの、温かい拍手とお声がけをありがとうございました。おかげで令和7年度の藝術祭が、彼らにとって、学校にとって素晴らしい歴史として記憶に刻まれました。

地域の皆様、保護者の皆様には本校の教育活動への変わらぬご理解、ご協力をお願いいたします。



藝術祭での学年ごとの活躍のようすは、福中ホームページ内ブログでご覧いただけます。